

令和7年度第2回諏訪市第1層協議体 開催

令和7年12月23日（火）諏訪市総合福祉センターにおいて開催し25名の参加。テーマは「地域の共同浴場について」取り上げ、地域の現状やこれまで共同浴場がもたらしていた地域コミュニティ形成の役割などを確認しました。理学療法士西村直也氏より実践報告を頂き、専門職と地域の協働による可能性を共有する機会となりました。誰もが年を重ねていくなか、心身の状態が変化しても住み慣れた地域で共に暮らし続ける方法を今後も協議体のなかで話し合っていきます。

第1層協議体とは、	<small>協議体 介護保険法第115条の45第2項第5号の中の 地域支援事業実施要綱 2生活支援体制整備事業の中の (3)実施内容 イ協議体の設置</small>
(諏訪市高齢者福祉計画)	
目指す姿:誰もが元気に安心して暮らせるまち ＝地域包括ケアシステムの構築強化	
目的 : 誰もが元気に安心して暮らせる 我々の地域をつくる ＝自助、互助、共助、公助の強化を目指す	
メンバー : 地域住民や地域関係団体、支援機関等	
行うこと : 地域の現状や困りごと・課題を共有し、 取り組みやしくみ等について話し合う	
期待 : 関係者のネットワーク化、情報共有、生活支援の充実	

本日のテーマ
「慣れた共同浴場に入り続けたい」
目標 : 共同浴場がもたらす地域力の可能性と共同浴場の展望を共有する
手段 : ①地域の共同浴場について情報共有 ②仮想ケースについて ③実際にあった話を共有

